

意思決定を支援するための 情報収集と記録

— 本人の価値観を尊重し、
支援者の気づきを高める —

なぜ情報収集と記録をするか

- 一般的には、（本人ならびに支援環境とその相互作用の）評価を行い、組織内・組織外との連携を図る根拠資料とする。その意味で、支援付き意思決定であれ、代理代行決定であれ、情報収集と記録は重要な活動。
- 独り善がりではない、プロセスを重視した支援を行うためにも有用。
- 成年後見の職務における「本人情報シート」活用
- ただし、ここでは特に、「意思と選好に基づく最善の解釈」を行うために必要な選好情報に焦点を当てる。

選好を重視した情報の収集・共有・蓄積・更新の例 Scope Australiaの方法

3

「意思決定支援を使いながら生活する人々
“微かに聞こえる声を聴く”」

People leading lives they prefer
through supported decision making
“Listening to those rarely heard”

Scope (Watson &
Joseph) 2011



非意図的なメッセー
ジ（情報）を含む

(写真は日本の方にご許可を
いただいて掲載しています)



意思決定支援の枠組み

Scope (Watson & Joseph) 2011



Scope Australia (Watson & Joseph)による 意思決定支援の枠組み

5

- ともに決定事項を定める
 - ▣ すべき決定事項があるか、それは何か
 - ▣ 誰にとって重要な決定か、なぜか
- ともに声を聴く；情報収集する
 - ▣ 意思と選好を丁寧に収集する
 - ▣ 密度の濃いやり取りを重ねて情報を集める
 - ▣ 本人をよく知る人の声も聞く
- ともに決定のための選択肢を探す
 - ▣ 本人の選好を参考に、考えられる選択肢を複数あげる
- ともに各選択肢に対する本人の反応を記録する
 - ▣ 各選択肢を試す、場所へ行く、本人の反応を記録し、複数名で検討する
 - ▣ 決定の事後についても記録していくことが重要
- ともに決定し行動する
 - ▣ 本人のために(for～)ではなく、本人にとって(to～)何が大切なのかを考える

意思と選好（プレファレンス）情報の 収集・共有・蓄積・更新

6

- みんなで選好の**収集**を続ける。非意図的なメッセージや行動もよく観察し、発生や繰り返しの頻度、反応などを勘案。
- 得られた情報を**共有**、協議して、独り善がりの判断を回避する。また多くの支援者がその選好に気づけるようにし、感度を高める。
- 絶えず**蓄積**し、整理する。
- 選好は変わり続けるので、以前と異なることが共有されたら**更新**する。

意思と選好（プレファレンス）情報の 収集・共有・蓄積・更新

7

- 「最善の解釈」を行うための基礎資料を集める
- 「意思決定支援」のプロセスを共有・確立し、独りよがりの「解釈」を排する
- 本人意思に対する、支援者の気づき(感度)を高める
- 本人の持つ「価値観」への気づきと尊重を高める
 - 価値観の尊重はソーシャルワークの基盤であり、価値観は選好を反映し形成される。

いつ、どのように行うか？

- 主として、「エンパワメントの相」で継続的に行われる
 - ▣ 「レスキューの相」でも活用される
- 打ち合わせなどの機会を利用して、また日報などの活用
 - ▣ 「選好」に関わる活動や発言があったか？
- 具体的に、明確に、客観と主観を整理して
- 安全性（リスク）と幸せ（幸福度、ハピネス）の観点から総合的に判断する。

グループワーク①

「～さんの好きなこと・嫌いなこと」（資料 a 使用）

- 1 人の人を思い浮かべる（家族、友人など）
 - よく知っている人が望ましい、或いは自分自身でも
- その人の好きなこと（もの）や、嫌いなこと（もの）を、それぞれ 3 つあげてみましょう。案外難しい？
- あげた中で、最も好きなことは何だろう？ 最も嫌いなことはなんだろう？
- 利用者さんについても同じように考えてみましょう

グループワーク②

10

「選好」→好き・嫌いの拾い出しと記録化のための表現
(資料 b、c 使用)

- ▣ Sさんのプロフィールと、生活介護事業所での記録（抜粋）まだ好き・嫌い（選好）を記録して共有していくには記述が不十分
- ▣ 記録化のためにはどのように書けばよいか？
- ▣ Sさんにはどのような好き嫌い（選好）が見られるか？